

今月の1冊から 2018年7月～9月

7月『きんぎょのえんそく』

高部 晴市 フレーベル館

きんぎょのアカさんは、フーちゃんといっしょに、どうぶつえんにえんそくにいくことになりました。どうぶつえんにつくと、きんぎょのアカさんはうれしくてひとりでどうぶつたちのところへいってしまいました。でも、ゾウさんやきりんさんにはなしかけたら、とおくへふきとばされたり、かばにのみこまれそうになったり、とらやカンガルーをおこらせてしまったり。それでもおひるのじかんにはフーちゃんにあえて、いっしょにおべんとうをたべました。わたしたちもどうぶつえんにいきたくなるような、たのしいえほんです。



8月『ベンジーとおうむのティリー』

マーガレット・フロイ・グレアム/作 わたなべ てつや/訳 アリス館

ベンジーはみみがながくてしっぽのみじかいちゃいろのいぬです。ベンジーはおとうさん、おかあさん、リンダ、ジミー、かぞくみんなのことがだいすきで、かぞくみんなもベンジーのことがだいすきでした。あるひ、サラおぼさんが、かっているおうむのティリーをつれてくるときいて、ベンジーはみんなからかまってもらえなくなるとおもい、やきもちをやいてしまいました。ベンジーは、サラおぼさんのへやへいき、ティリーのかごをごみかんにすてようとしています。ところが、かごのとびらがかんのふちにひっかかり、かごがあいてティリーがにげてしまったのです。ベンジーははじめティリーがいなくなってとてもうれしかったのですが、すっかりげんきがなくなっているサラおぼさんを見て、もうしわけないきもちでいっぱいになりました。そして、ティリーにもどってきてほしいとおもいました。かぞくみんなでティリーをさがしますが、なかなかみつかりません。ティリーはほんとうにみつかるのでしょうか？ そして、このあとほのぼのとしたとてもすてきなけつまつがまっています。ぜひ、よんでみてください。(よみおわったら、ぜひうしろのひょうしもみてくださいね！)



9月『みんなの防災えほん』

山村 武彦/監修 YUU/絵 PHP 研究所

地震(じしん)が起こった時、台風(たいふう)がくる時、大雨や大雪が降った時、どうしたらいいんだろう？ しんぱいですよ。でも、だいじょうぶです。この本が、いろいろな災害(さいがい)が起こったときにどうしたらいいのか、具体的(ぐたいてき)に分かりやすく教えてくれます。災害にそなえる準備(じゅんび)のしかたも教えてくれます。どのページも見やすいイラストで描かれているので、親子で楽しみながら防災(ぼうさい)について学ぶことができますよ。

